

立正大学 法学部

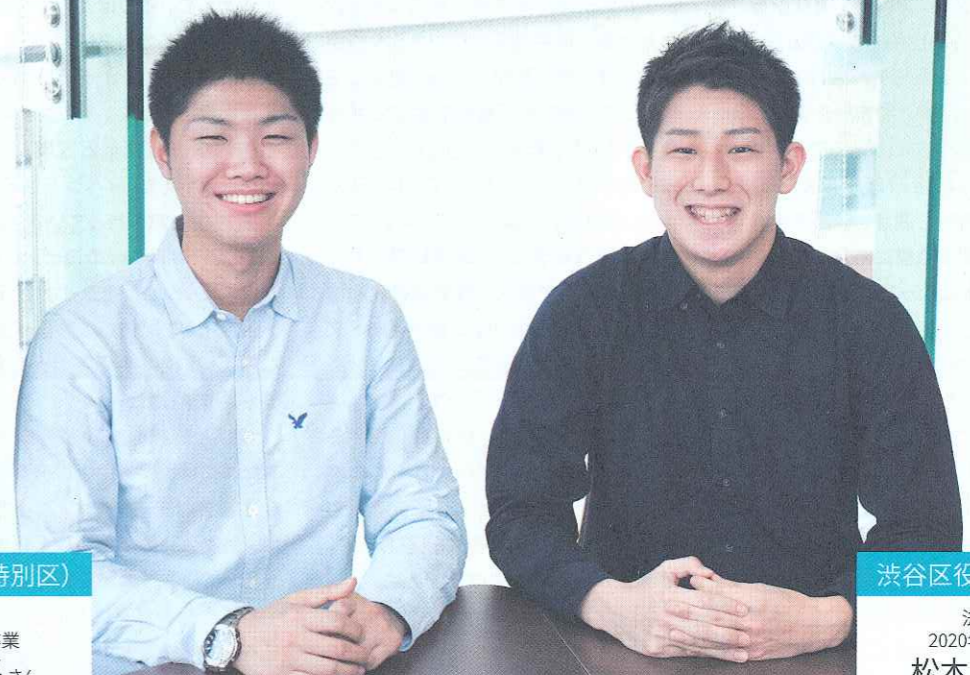
「モラリスト×エキスパート」を育む。

学生一人ひとりに寄り添う、親身な教育に注目。

140年以上の長い歴史を誇る立正大学は品川区にある唯一の総合大学です。法学部が品川キャンパスに移転して丸5年が経過する今も、法学部は着実に成長を続けています。その背景には、法学部開設以来、地道に培ってきた学生一人ひとりに寄り添う親身な教育姿勢があります。

学生 座談会

公務員試験に合格した学生たちが
進路選択について語ってくれました



品川区役所(特別区)
法学部
2020年3月卒業
喜村 一馬 さん
(三浦学苑高等学校出身)

渋谷区役所(特別区)
法学部
2020年3月卒業
松本 翔太 さん
(埼玉県立伊奈学園総合高等学校出身)

課外講座などのサポートを最大限活用し、念願の公務員に！

公務員を目指してサポートが充実した立正へ

公務員を目指すようになったきっかけは何ですか？

松本 中学生の時の東日本大震災がきっかけです。インフラが止まり家族で不安な思いをして過ごしていた際に、インフラの復旧や正確な情報の発信には行政の力が欠かせないと実感し、公務員という仕事を意識するようになりました。

喜村 僕はもともと親から「公務員が向いている」と言われたことがきっかけで、公務員という仕事を意識するようになりました。調べると公務員は、行政を通して幅広い分野に携わることができると知りました。僕はいろいろなことに興味があるので、確かに公務員は向いているかもしれないと思うようになったのです。

喜村 立正大学法学部を選ばれたのも、公務員を意識してのことですか？

公務員になりたいと思っていたので、高校での進路選択の際に、公務員試験に有利な法学部を選びました。比較検討した中で、立正大学の公務員講座は入門編と本講座とに分かれていたので、基礎からしっかりと学べるのではないかと考えて選びました。僕も公務員講座などの課外講座が充実していることが、立正大学法学部を選ぶ決め手でした。専門学校とのダブルスクールになると、大学の勉強があるそかになつてしまいがちで、もったいないです。また、毎年公務員の就職実績があることも、「この大学で頑張ればよいのだ」という信頼感につながりました。

基礎となる憲法を理解すると多くの法律の学びに役立つ

実際に法学部に入学して、どのような感想を持ちましたか。また特に役立つ授業を教えてください。

喜村 高校生のころは法律の勉強というものに馴染みがなかったのですが、たとえば六法全書に書かれている法律の条文を、全部覚えなさいといけないうか、というような心配をしていました。大学で授業を受けてみて、法律の学びというのは、1つの法律に対して、深く、多面的に考える学びだと知ることができました。

松本 僕は高校時代、バスケットボール部の活動に夢中になっていたので、勉強には自信がありませんでした。でも、大学のカリキュラムのおかげで基礎ゼミナールや憲法や民法の入門科目など、段階的に学ぶことができ、つまずくことなく取り組むことができました。特に、憲法の授業は、すべての法律の基礎になる考え方が学べて、とても役立ちました。僕も、憲法を基本からしっかり学ぶことで、ほかの法律を理解する助けになったと思います。

課外講座を活用し公務員試験に挑む

公務員試験の勉強には、どのように取り組みましたか？

松本 2年次の冬から法学部の課外講座である公務員講座の入門講座を受講し、3年次に本講座を受講しました。大学の授業と両立させるため、大学の授業は授業時間内に疑問点などを解消できるように集中して受けました。また、テスト期間中は公務員講座が休みになるので、その間は大学の勉強に専念しました。

喜村 僕も公務員講座は2年次から受講していましたが、2つの勉強を同時に進めるのが苦手なので、公務員試験の勉強に本腰を入れたのは、3年次の1月、大学の定期テストが終わってからです。毎日11時間くらい勉強しました。本当に、寝ている時間以外は勉強して、休む時間もいらいらしています。講座の先生やゼミの先生にも積極的に質問して、わからない問題を残さないようにしました。

松本 試験対策としては、テキストや参考書を読み返したり、講座の動画を何度も見返したりして、自分の疑問点を解消していききました。数的処理が苦手だったので、講座の先生から「わからなくても毎日やるのが大事」と言われて取り組んでいたら、次第に解けるようになっていきました。経済学系は自分でノートをつくらせて理解しました。大変なこともありましたが、公務員になるという確固たる目標があったため、がんばることができました。今後は、法学部で得た知識や経験を活かし、公務員の仕事に役立てていきたいと思っています。

喜村 僕も公務員講座は2年次から受講していましたが、2つの勉強を同時に進めるのが苦手なので、公務員試験の勉強に本腰を入れたのは、3年次の1月、大学の定期テストが終わってからです。毎日11時間くらい勉強しました。本当に、寝ている時間以外は勉強して、休む時間もいらいらしています。講座の先生やゼミの先生にも積極的に質問して、わからない問題を残さないようにしました。

基礎ゼミから始まる4年間のゼミ形式の授業で、考える力を養う

立正大学法学部では、1年次から「基礎ゼミナール」という、少人数のゼミ形式の授業が始まります。基礎ゼミでは、資料の調べ方や論文の書き方など、2年次からの本格的なゼミ活動に備え、どのように学べばよいのかを一から丁寧に指導します。

2年次からは学生が学びたいテーマを選び4年次まで同じ先生のもとで学びます。ゼミの内容はバラエティに富み、発表や討論を通して、考える力を身につけます。

3年次には各ゼミの研究発表の場である「ゼミ研究発表会」が開催されます。ゼミ生一体となって取り組む、法学部の一大イベントです。

喜村さんが所属していた労働法のゼミのゼミ合宿での1枚。3年次のゼミ合宿では、ゼミ大会に向けた準備が中心になります。



法学部で実施している議員秘書のインターンシップに参加した松本さん。国会見学の際の1枚です。政治を身近に感じることができる貴重な経験となりました。

オープンキャンパス 品川キャンパス 来校型で開催予定 10月17日(日) Webでも同時開催

来校型 (1) キャンパスツアー (2) 学部説明会 (3) 個別相談会
Web型 (1) オンライン個別相談 (2) 志望理由書・課題レポートの書き方講座
※ただしコロナウィルス感染症の状況により、変更されることがあります。

お問い合わせ 入試センター 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 TEL.03-3492-6649 <http://www.ris.ac.jp/>

